

5年 理科

受けつがれる生命(2)

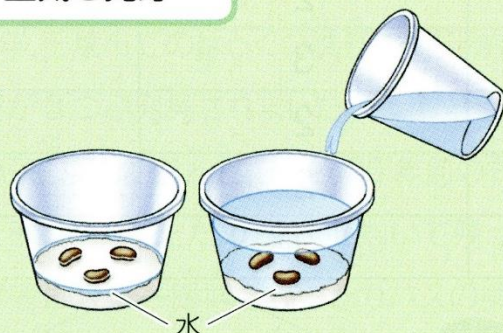
植物の発芽と成長

実験② 空気と発芽の関係

2

▶ 実験の結果をお伝えします。

空気と発芽



オ 空気にふれる。カ 空気にふれない。

カは、インゲンマメの種子が水につかるようにして、空気にふれないようにする。

変える条件	結果 (発芽した数)	同じにする条件
オ 空気にふれる。		● 水をあたえる。 ● 同じ温度の室内に置く。
カ 空気にふれない。		

別の方法

水中のインゲンマメの種子に、エアーポンプで空気を送り、空気にふれさせてもよい。



(オ)

結果：空気につれると発芽しました。

そろえた条件（じょうけん）

- ▶ 水をあたえる。
- ▶ 同じ温度の室内に置く。



数は、2つのうち1つだけでした。

(カ)

結果：空気にふれないと発芽しませんでした。

そろえた条件（じょうけん）

- ▶ 水をあたえる。
- ▶ 同じ温度の室内に置く。



変化（へんか）なし。
ちょっとくさりかけています。

結論：発芽には空気が必要。

